

「 「 「 「  
「 「 「  
「 「  
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 18 号 2016 年 6 月 15 日

熊本地震から 2 カ月になりますが、いまだに余震が発生しています。  
本格的な梅雨の季節になり、大雨による土砂災害も心配されます。

“天災は忘れた頃に来る” は寺田虎彦が関東大震災に際して言ったとされる  
有名な警句ですが、いまや忘れる間もなく大きな地震が起こっています。  
“いっどこで起きてても不思議ではない” を前提に防災・減災を普段から意識  
したいものです。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第 18 号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
  - ◆ 第 22 回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
  - ◆ 第 23 回コンサート
  - ◆ 第 24 回コンサート
- 【3】 「マリンバ」も「シロフォン」も日本語では「木琴」？
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第 22 回コンサート ■■

- ◇ 2016 年 7 月 17 日（日曜日）14:00 開演（13:30 受付開始）
- ◇ 出演：塚越慎子（マリンバ）、石黒唯久（ピアノ）
- ◇ プログラム（予定）
  - ◆ ハチャトウリアン：剣の舞
  - ◆ サン＝サーンス：白鳥
  - ◆ ショパン：革命のエチュード
  - ◆ ショパン：幻想即興曲
  - ◆ モンティ：チャルダッシュ
  - ◆ コセンティエーノ：タンゴ・パロッコ
  - ◆ ガーシュウィン：ラブソディー・イン・ブルー
  - ◆ 日本のうたメドレー 他
- ◇ 料金：大人・高校生 2,000 円、中学生以下 1,000 円
- ◇ 会場：大倉山記念館ホール

第 22 回ジョイフルコンサートは  
『2つの鍵盤から広がる世界～あの名曲をマリンバとピアノで』と題して、  
お届けします。

\*\*\*\*\*  
演奏者からメッセージが届いています  
\*\*\*\*\*

木琴のような快活で可愛らしい高音の響きから、木の温もりのある豊かな  
低音の響きまで、マリンバの音色はまさに変幻自在。

クラシック音楽をメインに、楽しいトークとともに、華やかなプログラムで、  
心を込めてお届けいたします。

ぜひ、お誘い合わせの上お越しください！

\*\*\*\*\*

今回のジョイフルコンサートはマリンバとピアノの 2 つの鍵盤楽器の共演です。  
どんなコラボレーションが生まれるのでしょうか？

どうぞお楽しみになさってください。

## ☆ハチャトゥリアン/剣の舞

### ○ハチャトゥリアン

ハチャトゥリアンはグルジア出身の指揮者でソヴィエト連邦の作曲家として活躍しました。プロコフィエフ、ショスタコーヴィチと共にソヴィエト3巨匠の1人とされています。

ハチャトゥリアンはグルジアのカフカス地方で民族音楽に親しみながら育ちました。「剣の舞」も聞いていてとても強烈なインパクトのある音の使い方とリズムで正直私個人的にはリラックスできる音楽とは言えません。

これも民族音楽の影響でしょうか？

ちなみにフィギュアスケートの浅田真央選手がオリンピックで使っていた

「仮面舞踏会」もハチャトゥリアンの作品です。

チェロと作曲を勉強したそうで、やはり才能の豊かさを感じます。

1963年に来日していて、京都市交響楽団、読売日本交響楽団と共演しているそうです。どなたか演奏を聴かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

### ○剣の舞

私は知らなかったのですが、この曲はバレエ音楽「ガイーヌ」の中の1曲です。最初はなかったそうですが、初演の前日に「クルド人が剣を持って戦いの踊りを踊る」という場面が追加され、ハチャトゥリアンは徹夜でこの曲を作り上げたそうです。ただ皮肉なことにこの「剣の舞」1曲が独り歩きしてしまったところがあって、「こうなる事がわかっていたらこの曲を書くことはなかっただろう」とハチャトゥリアンがぼやいていたというエピソードが残っています。

### ○バレエ「ガイーヌ」

舞台はアルメニアの国境近くの集団農場(コルホーズ)で働くガイーヌという女性が主人公です。夫のギコの祖国への裏切りに悩み、葛藤する姿を描いています。

ギコは公金を横領し仲間と亡命しようとし、それを聞いたガイーヌは自首するように忠告するのですが、ギコに閉じ込められてしまいます。

ギコは仲間と逃げようとし、しかし捕まりそうになり、すると今度は集団農場の綿花工場に火をつけて自分1人だけ逃げようとし、そしてそれに気づいて警察に訴えようとするガイーヌを今度は刺してしまうのです。

そこに現れた国境警察長のカルサコフがギコを捕らえ、ガイーヌを救いまた必死に彼女を看病します。ガイーヌとカルサコフの間にロマンスが芽生え、友達のカップル2組と一緒に結婚式をあげます。

結婚式が描かれる最終章でお祝いのように披露されるのが「剣の舞」です。

どうして「戦いの踊り」を踊るのか正直まったくわからないのですが、威勢よく場が盛り上がるのは確かかもしれません。

「剣の舞」の映像です。よろしかったらご参考にご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=rDnJ8JlPieU>

マリンバとピアノのコラボレーションは初めてなので、どんな感じなのか見当もつかず、でもとても楽しみです。当日を楽しみに私も待ちたいと思います。

おまけですが、ホームページにメルマガのバックナンバーが掲載されています。

今回のプログラムにありますガーシュウィン、ショパンもあります。

お暇な時にお読みいただくと嬉しいです。(A.N)

### ■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

---

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

---

■■第23回コンサート■■

◇2016年9月18日（日曜日）

◇出演：大川信之（テノール）、田島亘祥（ピアノ）、矢崎貴子（ピアノ）

ジョイコン初のテノール・リサイタルです。

◆予約受付開始日：2016年7月18日（月曜日）

---

■■第24回コンサート■■

◇2016年11月20日（日曜日）

◇出演：須藤千晴（ピアノ）

---

【3】「マリンバ」も「シロフォン」も日本語では「木琴」？

---

マリンバの歴史は、大昔のアフリカで地面に穴を掘って木の板を渡し叩いて音を出したことから始まります。木の板が発する音を穴で共鳴させる仕組みでした。その後、木の板の裏にひょうたんをつけ、ひょうたんで音を響かせるようになりました。

マリンバの原型となった楽器は、アフリカの人々とともに中南米に渡り、そこでひょうたんが木の共鳴パイプに変わります。さらにアメリカで金属製の共鳴パイプが付けられるようになり、現代のマリンバになりました。

アフリカの言葉で「リンバ」は木の棒を意味し、「マ」が多くの数を表す接頭語なので、「マリンバ」は多数の木の棒から成る楽器ということになります。

現代のマリンバの音域は、小中学校にある一般的なマリンバは4オクターブですが、音楽大学やプロの世界では、低い音域を拡張して4オクターブ半から5オクターブになっています。

マリンバの低音の音色は大変暖かみがあり、それが楽器の魅力となってレパートリーを広げています。

マリンバもシロフォンも日本語では木琴と呼ばれ、見た目もそっくりですが、実は少し違います。

硬い木でできた音板をばち（マレット）で叩いて音を出すという点は同じです。

マリンバは音板が大きくて厚みがあるので、重厚な音が出ます。音板の裏側はよく響くようにアーチ形に削ってあります。先に柔らかい毛糸が巻いてあるマレットを使うことにより、深くて柔らかい音がします。高い音から低い音まで出るのでソロで演奏することが多く、曲によってはマレットを片手に2本ずつ持ち、4本でたくさん音を出します。

シロフォンは音板がマリンバよりは薄いので、甲高くはっきりした音がします。音板の裏側は波形に削ってあります。先の部分が木やゴムなどで作られている硬めのマレットを使うので軽快で明るい音が出ます。

マリンバのように自分で伴奏もしながらソロで演奏することはあまりなく、オーケストラや吹奏楽でメロディを演奏することが多いです。音がはっきりしていてメロディが鮮やかに浮かび上がってきます。

有名な曲は、運動会でよく流されるカバレフスキーの「道化師のギャロップ」、富田勲の「きょうの料理」テーマ曲、ハチャトゥリアンの「剣の舞」などです。なお、「剣の舞」をマリンバで演奏する時はマレットを堅めにした方が効果的と言われています。（のん）

---

【4】コンサートのアンケートから

---

★前回のジョイフルコンサート（5月15日公演）、

『木管五重奏の世界～5種類の楽器による不思議なアンサンブル』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」「良かった」の合計が90%と大変高率でした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『オーボエが好きになりました。5人のキャラクターの違いがおもしろい』『トークもおもしろかったです！若いイケてる男性のコンサートは耳にも目にもよかったです』『前半の楽器解説が良かったです。小3の息子も、とても興味を持ちきいていました。（学校でリコーダー学習始まったところなので、さらに興味深かったようです）EncoreもGood!演奏は、やはりダンツィが良かったです。』『木管五重奏の演奏は初めて聴きました。各々の高音、低音がいかされ、とても素敵にマッチしてました。トークも楽しく勉強になります』など。

演奏者（中山正瑠さん）から感謝のメールが届いていますので、一部を紹介します。“僕らもとても楽しく演奏することが出来ました♪演奏はとても丁度よい響きだなと感じました。木のホールのおかげもあるかと思います。”

また、中山さんから近々のコンサートのご案内がありましたので紹介します。6月19日（日）11～12時@横須賀市立しょうぶ園（Musica Essence；5名）しょうぶ園入園料（一般310円）のみで聴けるそうです。

「ジョイコン」は、今後も演奏者とお客様を繋ぐ“架け橋”になれるよう努めてまいります。

---

#### 【編集後記】

---

最近本を読むことがなくなっていたが、『羊と鋼の森』（宮下奈都著）を読んだ。ピアノ調律師を目指す青年が「この職業に自分は向いているのか」「どこを目指せばいいのか」といった葛藤を丁寧な描写と温かい視点で描き出した長編小説だ。後日、「本屋大賞」に輝いたことも知った。

この本を紹介してくれたのは、第18回コンサート「フォルテピアノの全てがわかるトークコンサート」（平井千絵）に参加されたお客様。休憩時に調律師が熱心に調律している様子が印象的だったそうで、直後に小説をお読みなり、“読んだ後にコンサートを聴きたかったなあ”とのご感想を頂いた。久しぶりに“優しい気持ちになれる本”に出会った。（お）

---

※このメールマガジンは、  
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で  
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

#### ■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

#### ■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

#### ■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

[info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール [info@ohkurayama-joycon.com](mailto:info@ohkurayama-joycon.com)

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>

---